



学校だより

～立花小学校は令和5年3月に創立150周年を迎えました～

たちばな

2023年6月30日

尼崎市立立花小学校
校長 植木 加代子

今年も星に願いをこめて

梅雨も末期となり蒸し暑さが日毎に増してきました。6月21日からは水泳授業も始まりました。コロナ禍で神経質に対策をとっていた昨年度までとは変わり、今年はホイッスルの音も高らかに「バディ！」と声を出して、ペアでのいのちの確認をしっかりと実施しています。冷たさにはしゃぐ声も子どもらしく、やっとこのような日がきたんだと実感します。まずは水の危険を知ることを重視し、徐々に学習内容を進めています。支援ボランティアの皆様、ありがとうございます。

ホイッスルといえば、音楽の授業でも秋の音楽会に向けてリコーダーや鍵盤ハーモニカを、教室で全員揃ってのびのびと吹けるようになりました。飛沫による制限のあった活動は、高学年であっても初歩から教える内容が多々あります。胸を張って堂々と練習に励んでいる姿を応援していきたいものです。

6月17日の立花フェスティバルは、土曜ということもあり多数の保護者や地域の皆様にご来校いただきありがとうございました。コロナ禍前と同じような実施でしたが、引き続いての引き渡し訓練も暑い中ご協力ありがとうございました。内容を検証し改善してまいります。大災害が起こらないことを祈りつつも「備えあれば憂いなし」。子どもがひとりで行動しているいざというとき、どう判断していのちを守る行動をとれるのか、日頃からご家庭でもいろいろな場面を想定して話し合っておかないと訓練の度に思われます。大災害の時には、お家の方が帰宅困難者になってお迎えに数日かかる可能性もあることを想定に入れておきますと、少しでもパニックにならずに済むのではないかと思います。学校としてはそのような時必ず保護者様に直接引き渡しをいたします。話題には、同時に、日頃から通学路を守ることもお話しください。突然の地震では通学路から救助が入ります。

さて、150周年記念行事の計画や準備も、実行委員の方々や児童会を中心に着々と進んでいます。その中で、学校の歴史紹介に使用する校歌の録音録画を、学年ごとに実施しました。伴奏はスペシャルアレンジのオーケストラバージョンです。音声技術や映像技術の方も実行委員の中から機材を揃えてご多用の中駆けつけてくださいました。特に1年生の校歌がリズムも歌詞も正確に予想をはるかに超えて上手に歌えており、立ち会った大人は大感動してしまいました。6年生がペアになってつきっきりで教えてくれたとあって、6年生の歌声も素晴らしかったことは言うまでもありません。他の学年もよい歌声でした。式典に向けて本校歴史とともに編集されます。楽しみにしててください。

本校は幼保小連携の取組をしていますが、このように校内でもきょうだい学年の取組をいって進めています。異年齢でペア活動やグループ活動をすることは、たくさんの学びと成長がみられます。何よりも子どもたちが心から楽しそうです。のびのびと主体的に楽しんでこそその学びと成長です。

6月の最終週は5年生が美方高原自然の家へ4泊5日の自然学校へ行ってきました。親元を離れての冒険は、大自然の中で五感が大いに刺激され、大きな成長が見られました。

7月は1学期の仕上げの月であり夏休み前の大切な時期です。下旬には保護者と担任による個人懇談をもちます。児童一人ひとりについて学校や家庭での様子を互いにお話しできる貴重な機会です。今回は家庭訪問と違い全員を対象にしています。ご多用とは存じますが、7月中にぜひご来校ください。

4日はオープンスクールです。夏休みを前に、情報モラルを全学級で取り入れています。また昼休みの時間には、コミュニティスクール活動として「子育て講演会」もあります。ぜひご来校ください。

七夕前には、5年生が立花南生涯学習プラザの芝生広場で一緒に笹に飾り付けし歌って交流します。

～全ての子どもや大人の願いがかないますように～